

## 競技上の確認事項

競技委員長

### 1. 競技規則の確認

本大会は、平成29年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。また、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

### 2. 競技方法について

- (1) 本大会は1日開催とする。
- (2) 男子の部6チーム、女子の部24チーム、混合の部4チームとし、トーナメント戦とする。

### 3. チーム編成について

- (1) 県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは二重登録とされない限り変更はできるが、選手については、支部予選と同じでなければならない。選手は、病気や怪我など特別な事情がない限り交代はできない。ただし、支部予選に11名以内で出場した場合は、12名に満たない人数のみ補充することができる。(特別な交代、補充は同一団体に登録されている選手に限る)

※支部予選に参加する選手は、交代することなくそのままのメンバーで三重県大会に出場することになるので、チーム編成には充分注意すること。ただし、補充については、3.(2)とする。

- (2) 成人のベンチスタッフは、日常子供たちの健全育成を目指して指導に当たっていると県小連が認めた者であること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等子供を指導する者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。

### 4. 競技コートについて

四日市中央緑地体育館の第1体育館は、舞台側から入口側に向かってA・B・Cコートとし、第2体育館は、入口側から奥側に向かってD・Eコートとする。

### 5. 試合進行について

- (1) 試合順序は組合せに記載された通りとし、追い込み方式にて進行する。
- (2) 第1試合目は開会式終了後、準備が整ってから約10分後にプロトコールに入る。(放送あり)
- (3) 第2試合目以降は、前の試合が終了してから約10分後にプロトコールに入る。
- (4) 同一チームの試合が連続する場合は、前の試合が終了してから最大15分後にプロトコールに入る。
- (5) 試合の終了したチームは、速やかにベンチを空ける。また、次の試合のチームは、コート担当の指示が出てからベンチに入ること。
- (6) 試合間は、おおむね5分(試合が連続する場合は10分以内)アップタイムとして、ボールを使用するならばパス程度に留める。(指導者はコートに入れません。ボール出し禁止とする)  
その後、5分間の合同練習(指導者が入れます)を行った後プロトコールに入る。
- (7) 次の試合の審判にあたるチームは速やかに準備すること。
- (8) 試合の進行状況により、試合順序やコートが変更になることがあります。各チームは放送に注意して試合順などを確認すること。

## 6. 服装について

- (1) 選手の背番号は1～99とするが、1～12番が望ましい。
- (2) 表彰式・閉会式への参加は、統一された服装とする。  
〔県小連規則 第3条第2項(3)～(5)、第3条第3項(1)(2)(4)による〕
- (3) 競技参加者の服装については、ジャージ、パンツ、ソックスは、形状、色及びデザインが、チームで統一されていること。  
〔県小連規則 第3条第4項の(1)～(8)による〕
- (4) 男女混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにすること。ただし、違うユニフォームを用意できない場合は、男子が腕章をつける。(腕章は大会本部で貸与する)
- (5) 審判団の服装について〔県小連規則 第3条第6項による〕
- (6) 点示員の服装は統一された服装が望ましい。
- (7) 監督・コーチ・マネージャーは、規定の章を左胸部につける。

## 7. 応援について

- (1) 相手チームやラインジャッジに対し不快感を与える行動や言動は慎むこと。
- (2) 応援者へのマナーの厳守の徹底は監督から行う。  
※チームの概念として選手、チームスタッフ、保護者、応援者が含まれます。
- (3) 手摺等公共物を叩かない。
- (4) 太鼓・ラッパなどの大音量による応援は、県小連規則第3条7項の(2)のとおりとする。
- (5) 横断幕は、各試合の該当チームのみが1枚掲出し、試合後直ちに撤去すること。掲出の際は必ずひもを使用すること。(ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は一切禁止です) また、観覧席の手摺正面等に視界を遮る張り方はしない。  
※全国大会の注意事項は「横断幕は、施設上の規定により縦70cm横5m以内に限る」です。
- (6) のぼりは、試合終了後に撤去し、他のチームの邪魔にならないようにすること。掲出の際は必ずひもを使用すること。(ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は一切禁止です) また、観戦者の視界を遮ることのないように観覧席の最後部に立てること。
- (7) 試合中はカメラのストロボ撮影は禁止とする。

## 8. その他について

- (1) 空きコートの使用は、競技委員の許可を得る。柔軟体操かボールを使用するならオーバーハンドパスかアンダーハンドパスに留める。
- (2) 合同練習終了後競技フロアーに入場できるのはエントリーされた者のみとする。
- (3) ベンチへの持ち込み備品は、飲料水(ボトル類)・救急用具等する。  
また、マスコットの物(人形、ぬいぐるみ、千羽鶴等)やメガホンの持ち込みを禁止する。
- (4) うちわ等の使用については、セット間及びタイムアウトの間に選手のクールダウンのみ許可します。